

神崎町空き家等対策関係業務企画提案書等評価基準

1. 評価基準

	評価項目	項目番号	審査項目	配点 A	評点 B	点数 A × B
全体評価	業務内容の理解度		業務内容（目的、課題等）の理解及びそれに対処するための知識等は十分であるか。	2		
	業務内容の的確性		仕様書の内容を的確に捉え、業務の流れと取組内容が具体的かつ実施可能な提案であるか。	2		
提案事項	具体的な施策提案		空き家データベースについて、クラウドを活用した一元管理など、DXによる業務効率化が図られる提案となっているか。	3		
			相談窓口について、所有者等からの専門的な相談に迅速に対応できる体制や専門家との連携が適切で実施可能な提案となっているか。	3		
			総合プラットフォームについて、町及び空き家情報などを効果的に広報し、市場流通が図られる提案となっているか。	3		
運営体制	実施体制		本業務の進捗を管理し、確実に実施できる体制（人員配置等）が整っているか。	2		
	スケジュール		業務の目的を効率的に達成できる日程設定となっているか。	2		
	業務実績		本業務と類似した業務履行実績などから本業務を効果的に遂行できる能力があるか。	1		
その他	受託希望金額		点数（5点）×（提案価格のうち最低価格÷自社の提案価格） ※小数点以下第2位を四捨五入する。	計算式		
	創意工夫		業務精度を高め、円滑に進めるための独自の提案はあるか。	1		
合計						

2. 採点基準における評点

区分	評価
5	優れている
4	やや優れている
3	普通である
2	やや劣っている
1	劣っている
0	該当しない

点数＝評価基準表の配点×採点基準における評点